



4月18日(火)3年生対象に全国一斉に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。全国的な生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図るために毎年行われているものです。内容は、「知識」と「活用」を一体化した問題からなり、国語・数学・英語の3教科で実施されました。また、「生徒質問紙」により、学習意欲・環境・方法・生活など各生徒の生活習慣や学習内容を把握するための調査もありました。本校の結果が届きましたのでお知らせします。

国語・数学・英語の結果報告

【国語科】

○平均正答率が全国に比べて高かったのは、【知識及び技能】では『我が国の言語文化に関する事項』『言葉の特徴や使い方に関する事項』であり、【思考力、判断力、表現力等】では『C 読むこと』であった。平均正答率が全国に比べて特に高かった問題は、『文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうか』、『文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうか』であった。文脈に即した漢字の読み書きの学習や、叙述を根拠にした読み取りの学習をさらに充実させていく。

▲平均正答率が全国に比べて低かったのは、【知識及び技能】では『情報の扱い方に関する事項』であり、【思考力、判断力、表現力等】では『B 書くこと』であった。平均正答率が特に低かった問題は、『意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうか』、『具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる』であった。テキストとしての情報を、「具体と抽象」「意見と根拠」に分類・整理する学習を進めていく。

【数学科】

○平均正答率が全国に比べて高かった問題は、箱ひげ図に着目して説明する問題、与えられた表やグラフから必要な情報を読み取る問題であった。事象を数理的に捉え、解決までの思考過程を、根拠を明確にして説明・比較・検討させる学習をさらに充実させていく。

▲平均正答率が全国に比べて特に低かった問題は、四分位範囲を求める問題、証明を振り返り読み取る問題、累積度数を求める問題であった。全領域において正答率の低さが目立ち、特に図形領域が課題となる。反復学習による基礎基本の定着を目指すとともに、ペア学習やグループ学習での学び合いを継続して行っていく。

【英語科】

○平均正答率が全国に比べて高かった問題は、日常的な場面において、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る問題、数字が含まれた説明文を読み、情報を正確に読み取る問題であった。基本文を使ったやりとりなどのペア学習を継続して行っていく。

○「話す領域」の平均正答率については、全国に比べて高かった。間違いを恐れず伝えることができている。今後は、なるべく正確に伝わるように練習していく。

▲少し長めの説明を聞き取る問題では、some + 複数形などの細かい部分まで聞き取りができず正確な情報を聞き取ることを苦手としている。1度しか音声流れない問題では、日本語で書かれた状況をすばやく理解し、聞き取りの順番や優先順位を把握して聞き取る必要がある。また、知らない単語や音声変化につまずきを感じている生徒が多いので、普段のやりとりの中で英語を聞き取る機会を増やしていく。

▲日常的な話題及び社会的な話題について、少し長めの英文を読み取る問題では、文章のしくみを理解し、大まかな内容を捉えることを苦手としている。英語の文章のしくみ自体は分かりやすく、把握しやすい。一方で、英文を読むこと自体に抵抗感をもっていたり、語彙や文法などの基礎的な部分が不足していたりする生徒が多い。語彙や文法の習得には、一定の時間が必要である。

生活状況の結果報告

《自分自身について》

○「読書が好き」「図書館に週1～3回程度行く」「人の役に立つ人間になりたい」と答えた生徒の割合は、全国平均を大きく上回っている。「困っている人がいた時、進んで助けている」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と答えた生徒の割合は、全国平均を上回っている。

▲「友達関係に満足している」と答えた生徒の割合は全国平均を下回っている。

《家庭・地域での生活について》

○「朝食を毎日食べている」と答えた生徒の割合は全国平均を大きく上回っている。「毎日同じくらいの時間に起きている」「日本や采女地区のことについて外国の人にもっと知ってもらいたい」と答えた生徒の割合は、全国平均を上回っている。

▲「住んでいる地域の行事に参加している」と回答した生徒の割合は、全国平均を下回っている。

《家庭での学習について》

▲学校の授業以外での平日1日当たりの学習時間(塾や家庭教師、インターネット学習も含む)について、「3時間以上学習している」「2時間以上3時間未満学習している」と答えた生徒の割合は、ともに全国平均を下回っている。

土曜日や日曜日の1日当たりの学習時間について、「4時間以上学習している」と答えた生徒の割合も、全国平均を下回っている。

《学校での生活について》

○「先生が良いところを認めてくれている」「学級での話し合いを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」と答えた生徒の割合は、全国平均を大きく上回っている。

「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と回答した生徒は、全国平均を上回っている。

▲「困りごとがある時に、先生などにいつでも相談できる」と答えた生徒は、全国平均を大きく下回っている。

《学校での学習について》

○1, 2年生のときに受けた授業で、ICT機器をどの程度使用したかについて「ほぼ毎日」と回答した生徒の割合が全国平均を上回っている。

「1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表した」と回答した生徒は、全国平均を上回っている。

「話し合い活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒は、全国平均を上回っている。

「道徳の授業で、自分の考えを深めたり話し合ったりする活動に取り組んでいる」と回答した生徒の割合は、全国平均を上回っている。

▲「1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒の割合は全国平均を大きく下回っている。

「先生が授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれる」と回答した生徒の割合は全国平均を大きく下回っている。

「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習に繋げることができている」と回答した生徒は、全国平均を大きく下回っている。

—— 今後に向けて（まとめと課題） ——

- ①他者との関わりを大切にし、思いやりの気持ちをもって生活することのできている生徒が多い。
- ②話し合い活動を充実させ、学びあうことのできる生徒が多い。
- ③悩み事などの相談ができないと感じている生徒が多い。→生徒の変化を見逃さず、成長や個性を認めたり、励ましや賞賛の声かけを積極的に行ったりすることで、相談しやすい関係づくりに努めるとともに、「SOSの出し方に関する教育」を推進していきます。
- ④学習への取り組みに消極的な生徒が多く、理解していないところをそのままにしてしまう傾向が強い。→授業では、既習事項を活用して自分の考えを表現したり、学び合いを通して新しい考えを構築したりする活動を積極的に進め、自分の学びを広げることの楽しさに気付かせていきます。また、授業の終末で振り返りシートやテスト後の「誤答分析レポート」を活用し、教員が課題を把握するとともに、その解決に向け、全体指導や個別指導を行っていきます。
- ⑤地域への思いをもっている生徒は多いもの、地域の行事に参加している生徒が少ない。→公民館など地域と連携することで、生徒の活躍の場を広げていきます。
- ⑥友人関係で悩みを持っている生徒が一定数いる。→授業や行事などで、様々な生徒と関わる場を積極的にもつことで、生徒が友人関係を広げ、様々な人と交流することのできるようにしていきます。

※生徒が使用しているタブレット端末に、「毎日の学習に役立つ！！全国学力・学習状況調査」の解説動画が視聴できるようにしてありますので、ご活用下さい。